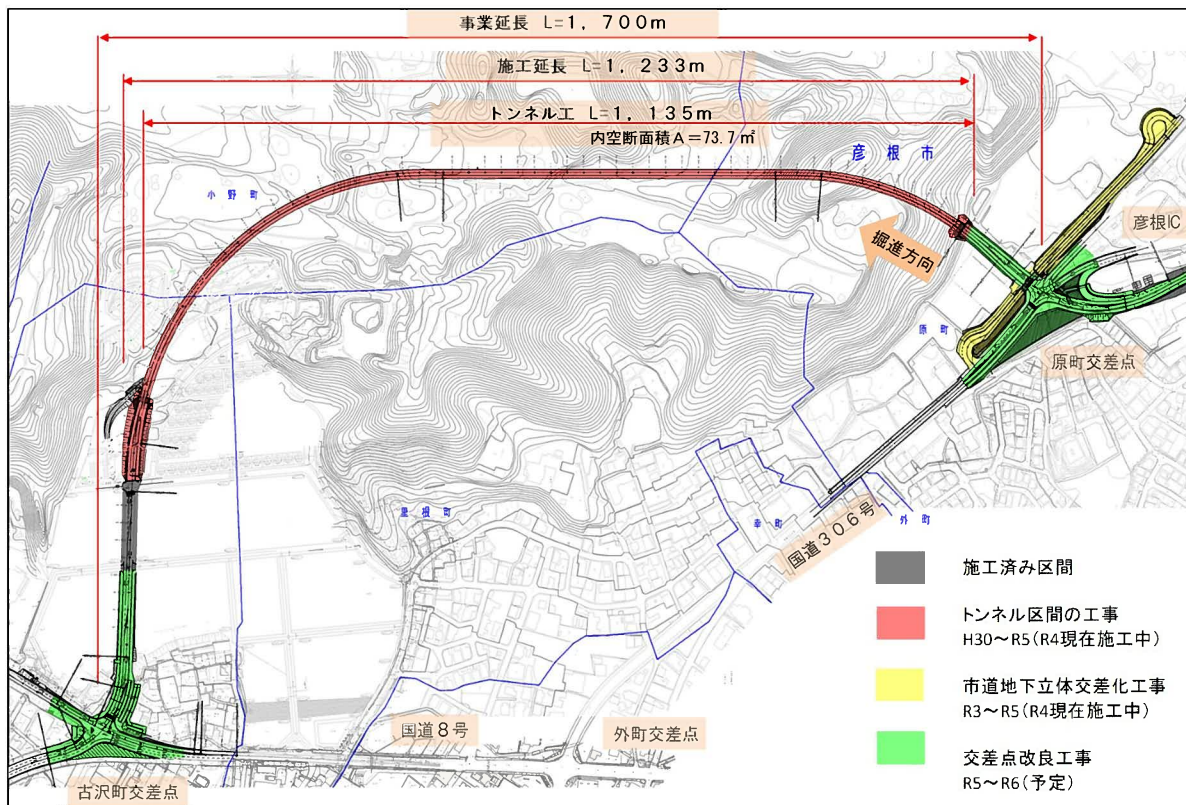


契約の変更につき議決を求めることについて  
 (原松原線補助都市計画街路工事)

1 工事概要

- ・工事名 平成30年度 第1-1号 原松原線補助都市計画街路工事
- ・施工場所 彦根市原町他
- ・概要 施工延長 1,233m  
 トンネル工 1,135m、明かり部道路工 1式、仮設工 1式
- ・工期 平成31年3月18日～令和5年5月26日
- ・契約金額 変更前：9,801,256,100円  
 変更後：9,395,738,900円
- ・契約の相手方 戸田・昭建・金子建設工事共同企業体  
 代表者 戸田建設株式会社大阪支店  
 常務執行役員支店長 和久田 吉朗



国道8号側坑口部 イメージ図



彦根 IC 側坑口部 イメージ図



## 2 トンネル工事の状況【令和5年2月現在】

・トンネル掘削	令和4年	3月4日	トンネル貫通
・インバートコンクリート	令和4年	7月1日	施工完了
・覆工コンクリート	令和4年	12月26日	施工完了
・坑門工	令和5年	1月31日	施工完了

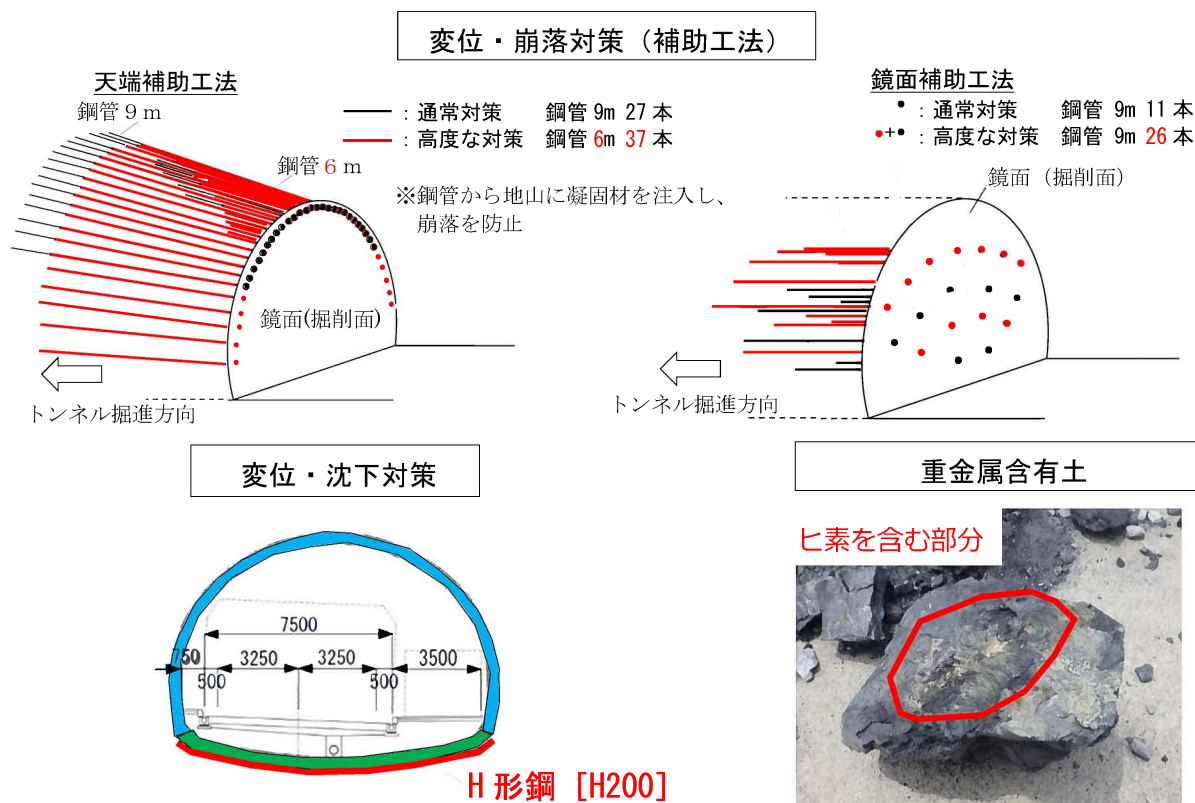
## 3 変更理由

### ○変位・崩落対策、変位・沈下対策

- ・前回の設計変更時点での残区間（103m）は、破碎帯が連続する脆い地質で地山の土被りも薄い区間であったため、高度な変位・崩落対策を残区間の全てで計上した。
- ・また、粘土を含む地層が出現しており、今後も連続して出現すると想定したため、変位・沈下対策も残区間の全てで計上した。
- ・掘削の結果、高度な変位・崩落対策は破碎帯を中心とした約58%の区間で実施し、それ以外では通常の変位・崩落対策を実施した。
- ・変位・沈下対策は、粘土が出現した約14%の区間で実施した。

### ○重金属含有土

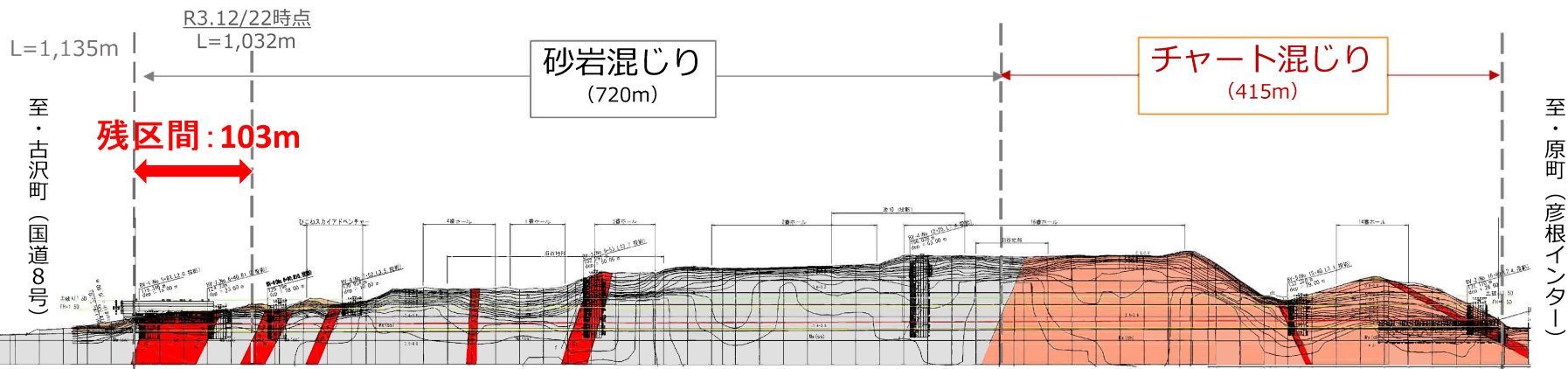
- ・重金属含有土については、破碎帯以外でも基準値を超えて出現していたため、破碎帯を含む残区間の全てで基準値を超えると想定し、その処分を計上した。
- ・掘削の結果、重金属含有土の処分は、基準値を超えた約51%の区間で実施した。



## 4 工事費の変更内容

○変位・崩落対策の変更および変位・沈下対策の減工	▲200,674,000円
○重金属含有土の処分量の減	▲204,843,200円
合計	▲405,517,200円

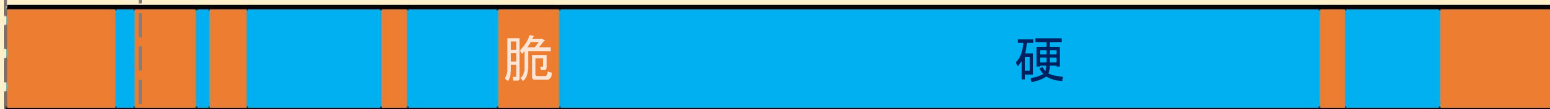
# ■ トンネル掘削状況図



## 《地質》

※脆い層では補助工法により崩落を防止

硬い層: 70%  
 脆い層: 30%



当初設計

高度な変位・崩落対策: 100%見込み  
 変位・沈下対策: 100%見込み



設計変更  
 (R3年12月22日)  
 (R4. 2月定例会議報告)

硬い層: 19%  
 脆い層: 81%  
 高度な変位 変位  
 崩落対策 崩落対策  
 58% 42%  
 変位・沈下対策  
 14%



実績

## 《重金属含有土》

重金属: 12%



当初設計

100%  
 (見込み)



設計変更  
 (R3年12月22日)  
 (R4. 2月定例会議報告)

重金属: 48%



実績